

神経・脳外

Neurology/Neurosurgery

ユニット責任者：脳神経外科学 教授 田中 雄一郎

ブロック名		期間	ブロック責任者
第3ブロック	神経脳外③	5月22日～5月25日	大塩 恒太郎
第4ブロック	神経脳外④	8月28日～8月31日	白石 眞

1. ユニット概要・学習内容

神経疾患ほど多彩な症候を示す疾病は他の臓器には例を見ず、また1つの神経症候でもその性状と程度は症例によってさまざまである。近年画像を中心とした種々の検査技術が発達して神経疾患の診断に盛んに利用されているが、画像診断で観察される異常所見と同部の神経組織のはたらきとは別問題であり、その機能脱落あるいは機能亢進状態はあくまでも神経症候から判断することが肝要である。

第3ブロックでは、神経系疾患の外科的治療総論、神経正常解剖と症候・画像診断、脳脊髄に発生する腫瘍、血管障害、外傷、水頭症、奇形、てんかんについて幅広く学びます。

第4ブロックでは、変性疾患総論、中枢神経感染症、末梢神経疾患、神経免疫疾患筋疾患、頭痛、自律神経障害などについて幅広く学びます。

2. 到達目標

- 1) 脳・脊髄の正常解剖を理解し、症候の理解、画像診断ができる。
- 2) 中枢神経系の腫瘍、血管障害、外傷、奇形などの病態と治療を説明できる。
- 3) 中枢性、末梢性脱髄疾患などの神経疾患の説明ができる。
- 4) 筋疾患、頭痛、自律神経障害に対する診断・検査・治療を説明できる。

3. 学習上の注意点

教科書や参考書の該当箇所を一読しておく。

問診、神経症候から鑑別疾患を挙げられるように勉強する。

4. 教科書・参考書

教科書：『神経内科ハンドブック』（医学書院）鑑別疾患に重きを置いた神経学のバイブルである。

『標準脳神経外科学』（医学書院）脳神経外科領域の疾患を広くカバーする教科書といえる。單元ごとの通読も可能で、学生にとって必要十分なレベル。

参考書：「病気が見える vol.7 脳・神経」（MEDIC MEDIA）

（書評）イラストも多彩に visual 化されており、項目ごと理解しやすく調べやすい。ただし通読には不向き。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	90（％）	
授業態度		10（％）	

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
脳神経外科	教授	田中 雄一郎	月曜日 17-19 時	東館 2 階・脳神経外科医局	tanaka
脳神経外科	准教授	大塩 恒太郎	同上	東館 2 階・脳神経外科医局	koshio
神経内科	講師	白石 眞	月曜日 14-16 時	医学部本館 1 階 神経内科医局	shira

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略